

高槻労山 50 周年記念レセプションの報告

記録・楠見

日時：2018 年 10 月 8 日（月）午後 2 時 30～午後 4 時 30 分

会場；高槻クロスパル 視聴覚室

1. 50 周年記念レセプション

14:30 開会あいさつ・三鍋会長

来賓挨拶・ハイキングクラブはりま、西川吉弘さん

15:00～15:30 50 周年記念講演

15:30～15:40 休憩

15:40～16:30 50 周年記念誌発行委員会からの報告と記念誌の配布

参加者から一人一言（山の思い出など）

16:30 閉会あいさつ 石井さん

2. 懇親会

17:00～19:00 宴会会場では 20 名が参加し交流した。

3. 報告

- ・参加者 24 名。
- ・来賓は元高槻労山の会員で、所縁のある西川吉弘さんに挨拶をお願いした。
- ・50 周年記念ということで創立当初からの会員である安部さんから話をしてもらった。創立当初の会員は 3 名である。安部さんが若いころ、正月山行で 20 名の仲間と槍ヶ岳に行った。その仲間が力を合わせ、私を登らせてくれた。嬉しい反面、大切な時間を使わせてしまったという気持ちである。二点目は印象的な 3 名の仲間について写真を交え、その人の人柄や思い出などが話された。
- ・田中さん：7 年前に鋸岳で滑落したが、中島さんと三宅さんに助けられた。二人がいなかったら助かっていなかった。仲間は大切である。
- ・平井さん：ポンポン山ゴルフ場反対集会には、ポンポン山山頂に 100 名ぐらいが集まった。竈ヶ谷の途中にある通称ガハハの森で第一回集会をした。そこから先には道がなかったので倒木を乗り越えたり、炭焼き釜の跡地を通ったり、鋸とナタで道を切り開き歩けるようにした。その後、このコースを 6 月のクリーンハイキングの時に話をし、20 人ぐらいで歩き、会員にも知らせるようにした。会での通称は「平井新道」と呼ばれるようになった。